



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第9号 (H22.6.7)

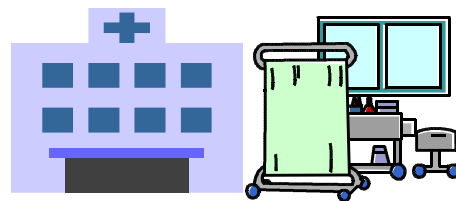
宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 大竹 正純

質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



職場見学を実施しました！

— 都城市郡医師会病院にて —

6月4日(金)に職場見学を都城市郡医師会病院にて実施しました。この職場見学は、本校の教育理念にありますように、郷土の産業や医療等の中核となる人材の育成を図る上での学習ということ、また総合的な学習における「キャリア探究」の一貫として行った学習です。

本校の考える進路指導とは、生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識をもち、自分の意志と責任で自分の進路を選択決定する能力や態度を身に付けることができるように、指導・援助することです。本校では、6年間で生徒一人ひとりが、自らの能力・適性・興味・関心・性格・将来の希望等を生かして、将来にわたって社会的な自己実現ができる

ように啓発的体験学習をキャリア探究と位置づけて取り組んでいます。特に、第1学年では「職場見学学習」第2学年では、「大学探訪・企業探訪」、第3学年では「職場体験学習」を実施していきます。働く人たちの職場を見学または体験することにより、職業人の職業観を理解するとともに、生徒の幅広い職業観を形成することとしています。今回の職場見学は、職場見学研修プログラムを見て分かりますように、宮崎県内発、いや全国でもまれな取り組みだと思われま。是非、この機会を利用して、子どもたちの大きな目標になってくれればと思います。中津留副院長から、医療とは、心を持った人を相手する仕事であり、相手の立場に立つことの必要性を言われ、田原総看護師長からは、人の心と身体の両方をサポートする仕事であると言われました。特に副委員長は、「知力だけでなく、心と身体を鍛えてください」「人を好きな人に医療人になって頂きたい」「挫折を経験した方がいいかも」など貴重なアドバイスを頂きました。



中津留副院長 講演「医療全般と医師業務」

職場見学研修プログラム

(AM9:00からPM16:00まで)

- 1 講演:「医療全体と医師業務」 中津留副院長
森下医師・湯地医師
- 2 講演:「医療看護について」 田原総看護師長
久保田薬局長
- 3 外来・病棟見学
- 4 見学・体験活動
 - ・蘇生法 名越医長・看護師
 - ・心臓血管治療実技体験 岩切医長
 - ・脳神経外科実習 太田医長
脳神経外科医
 - ・外科実技体験 末田医長・金丸医長
 - ・放射線画像見学 長池医長
井料医師
蓮池放射線技師長
 - ・手術室・麻酔科見学 小金丸医長
- 5 質疑・応答
- 6 修了式: 研修終了証授与



田原総看護師長

久保田薬局長



(MR I 室見学)



(心臓血管治療実技体験)



(外科実技体験)



(心肺蘇生法実技体験)



(外科実技体験)



(脳神経外科実習)



(先生方との質疑応答)

本校は医師を目指す生徒が多く、将来の進路選択に大きく役立ったのではないかと思います。また、写真から分かりますように、医師の体験談を聞いたり模擬検査を体験したりして、医師の仕事に興味関心が一層高まったのではないのでしょうか。内容については、午前中は医師としての心構えや、各診療科の業務内容に関する講演。午後は五つの診療科に分かれ、グループごとに体験実習を行いました。生徒たちは心肺蘇生法や心臓カテール検査など模擬器具を使って体験しました。このうち上記の写真にありますように、外科コーナーでは、実際に医師が着る術衣を着用したり手術で使う道具に触れたりしました。生徒は医師の解説を聞きながら皮膚を縫合する際に使う特殊なはさみなど、見慣れない器具に興味深そうに見入っていました。(宮崎日日新聞6月5日より)最後の生徒代表挨拶で、瀬ノ口くんが「医者になる夢に向かって頑張りたい」と堂々とした挨拶を先生方に向けて発してくれました。

【 生徒の感想 】

…僕は来る前まで、病院の仕組みや医師などの仕事についてあまり知りませんでした。でも、今回の見学を通して、いろいろな設備があることや、患者さんがどのようなものを食べているのかなど、いろいろな事を知ることができました。講演を聞いて、医師というものは「心を持った人を相手とする仕事」ということがよくわかりました。医師の方々も看護師、薬剤師などの方々も、「相手の立場に立って治療する」ということ、「チームワーク」の大切さなど頑張っているんだと痛感しました。看護師の田原さんの講演でも「看護師の仕事とは、患者の生命力の消耗を最小にするように整えることである」という言葉が印象に残りました。…例えば、手術服を着る、これは少し着るのが難しかったけれど、着ることができてとても嬉しかったです。他にもMRIなどの機械、心筋梗塞についての説明、動脈瘤のコイル入れ、心肺蘇生法の実技体験などのめったに触れることもできないものをたくさん見たり、体験できたりしました。…本当にありがとうございました。(湯地晃太郎)

…今回の職場見学で、私はたくさんのお話を学びました。その中で一番印象に残っているのは、医師というのは「心が開いていないと患者さんたちの心は読めない」逆に言うと「自分が心を開いていなければ、相手の心は見えない」ということです。医師は、いろんな症状の患者さんを診察します。そのようなときに心が開いている人と、開いていない人では差が出てくるのだと思います。私は、将来医師になりたいと思っています。…今回教わったことを生かして、将来自分がすごい医師になれるようにがんばっていきたいです。(廣田佳穂)
